



2025年9月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 祐 樹  
(コード番号：6548 東証グロース)  
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 執 行 役 員 朝 居 宏 文  
E-mail : [ir@tabikobo.com](mailto:ir@tabikobo.com)

### 2025年6月期有価証券報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、企業内容等の開示に関する内閣府令第15条の2第1項に規定する有価証券報告書の提出期限延長に係る承認申請書を関東財務局へ提出することを決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 記

1. 対象となる有価証券報告書  
第31期（2025年6月期）有価証券報告書（自2024年7月1日至2025年6月30日）
2. 延長前の提出期限  
2025年9月30日（火）
3. 延長が承認された場合の提出期限  
2025年10月31日（金）

#### 4. 提出期限の延長を必要とする理由

当社は、2025年8月29日付「雇用調整助成金および緊急雇用安定助成金の受給に関する特別調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」および同年9月1日付「雇用調整助成金および緊急雇用安定助成金の受給に関する特別調査委員会の調査報告書の公表に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、特別調査委員会による調査結果に基づき、過年度財務諸表の訂正に関する監査を受けております。

この監査の過程において、当事業年度の期首残高を確定するために必要な過年度財務諸表の訂正が提出期限までに完了せず、監査報告書を受領できない状況となりました。

具体的には、監査法人による訂正監査手続の一環として実施された2021年3月期の法人営業部門の売上サンプルテストにおいて、特別調査委員会が検出した事案とは異なる手口の不正が疑われる事案として、合理的な説明が困難な取引が発見されました。当該取引は、売上先から発注を受けていない金券を仕入原価の一部として手配した後に現金化し着服していた疑いがあるもので、取引先から発注があったかのように見せかけるためにメールを偽装・改ざんして取引証拠としていた可能性が高いと考えられます。なお、現時点では不正額の特定には至っておりません。

当社では、この不正疑義に関して、現時点までの証憑等の確認結果から特定の個人による不正疑義の可能性が高く、現在及び過去の経営陣の関与が認められていないこと、及び調査を迅速に行う必要性が高いことから、自主点検チームを立ち上げ、社内から朝居宏文取締役執行役員ほか2名の執行役員が参加すると共に、外部の会計および法務の専門家の協力も得て、当該事案に加え、類似事案の有無を含めた調査を実施しております。退職済み関係者へのヒアリング設定や、調査対象の拡大可能性を踏まえると、調査には一定の時間を要する見込みです。調査終了後には、監査法人による訂正監査手続および追加監査が必要となるため、これらを含めた日程を考慮する必要があります。

以上の状況を踏まえ、当社は、2025年6月期有価証券報告書について提出期限の延長に係る承認申請を関東財務局に行うことといたしました。

## 5. 今後の見通し

今回の提出期限延長に係る申請が承認された場合は、速やかにお知らせいたします。

当社は、本有価証券報告書を作成するとともに、調査の結果訂正が必要と認められた期間の提出済みである有価証券報告書、半期報告書、四半期報告書及び内部統制報告書を訂正し、監査法人による監査等を受け、延長後の提出期限である2025年10月31日までに提出できるように対処してまいります。

また、2025年6月期決算短信につきましても、公表を延期することとし、2025年6月期有価証券報告書と共に関係各所との確認が取れ次第2025年10月31日までに公表いたします。

なお、2025年9月30日までに開示を予定しておりました「事業計画及び成長可能性に関する事項」につきましても、準備が整い次第速やかに開示いたします。

改めまして、株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

以上